第３学年道徳科学習指導案

３年Ａ組　指導者　森重孝介

主　題　きまりを守るとは（元さんと二通の手紙）

１　本主題でめざす子どもの姿について

対象と向き合う子どもの姿【対】	自己と向き合う子どもの姿【自】	他者と向き合う子どもの姿【他】
○きまりの意義について、自分自身とのかかわりの中で繰り返し考えている。	○きまりに対する今までの自分の考え方を見つめ、これからの自分の向き合い方について考えを深めようとしている。	○自分にとってよりよい生き方につながるよう、きまりについての仲間の考えのよさを見出している。

２　めざす子どもの姿を実現するために

子どもたちは、一昨年実施したアンケートの質問項目「約束やきまりを守っていますか」に対して、「まあまあできている」の比率が高く、きまりを意識して生活している傾向が見られる。このような子どもたちが、きまりの意義を理解した上で、きまりを守るか否かの判断の難しさを自分自身とのかかわりの中で考える学習に取り組む。このことは、中学校を卒業する子どもたちが、多様な社会の中でもきまりを大切にし、尊重しようとする態度を培うであろう。

本主題では、内容項目「遵法精神、公徳心」をねらいとして学習する。本教材「元さんと二通の手紙」では、姉弟のことを思って行動した元さんが停職処分を受けることに疑問をもつ子どもがいるであろう。また、その処分を受け入れ、再出発を図ろうと明るく辞職する元さんに不可思議さを感じると予想される。子どもたちは、元さんの姉弟への思いやりと動物園の停職処分の重さとを比較しながら、きまりの意義を考えていくであろう。その際、自分の感じ方やこれからの自分自身の生き方と重ねて考えることを大切にしたい。そうすることで、きまりの意義を自分自身とのかかわりの中で考えることができると考えるからである。

そこで、以下のような支援を具体化し、本主題でめざす子どもの姿の実現を図る。

○　元さんの停職処分が妥当か否かを問う。そうすることで、姉弟への思いやりと動物園の停職処分の重さとを比較しながら、きまりの意義を考えることができるようにする。【対】

○　「事故が起きていたら」という発言に対して、「逆にきまりを守っていたらどうなるか」と問い返し、きまりを守るよさを話し合うよう促す。そうすることで、仲間と思いを共有しながら、きまりの意義を考えることができるようにする。【他】

○　授業の終末には、授業の学びを基に、「自分」をキーワードに学習を振り返る場を設ける。そうすることで、きまりに対する今までの自分の考え方を見つめ、これからの自分の向き合い方について考えることができるようにする。　【自】

３　本時における評価の視点　※道徳は「評価の視点」

多面的・多角的な見方	自分自身との関わり
○停職処分が妥当か否かを考えている。	○きまりの意義を自分自身のかかわりで考えている。

４　本時案　　【令和元年１１月２２日　１１：４０～１２：３０　３年Ａ組教室】

（１）ねらい　　母親の手紙と動物園の停職処分を比べることを通して、きまりは人を拘束するものではなく、個人や集団をよりよいものとしていくことに気付き、きまりの意義を大切にしながら生きていこうとする態度を培う。

（２）学習過程※下線は３つの向き合う姿が表れている子どもの意識

学習活動・学習内容	子どもの意識	○教師の支援

1　きまりについて想起する。（５分） ・きまりについて	・きまりは何のためにあるのか考えるのだね。 Ｂ人を縛るためかな。 ・人を守るためだと思うよ。 **きまりは何のためにあるのだろう**	○元さんの停職処分が妥当か否かを問うことで、姉弟への思いやりと動物園の停職処分の重さとを比較しながら、きまりの意義を考えることができるようにする。【対】
2　二通の手紙について話し合う。（３５分） ・きまりを守れなかった人の思い ・他者への思いやり ・思いやりときまりを守ることの比較 ・きまりの意義 ・きまりを守るか否かの判断 ・判断の困難さ	・手紙から元さんへの感謝が伝わるよ。 ・停職処分によって、元さんは大切な仕事を辞めてしまったのか。 元さんへの停職処分は妥当だろうか ・重いと思う。生きがいの仕事を辞めてしまったからね。 ・重いと思う。姉弟を思ってしたことなのに。 Ａ私は妥当だと思う。もしも事故に合っていたら姉弟や母親の生活に影響を及ぼすよ。 ・それに動物園側が責められていただろうし、多くの人に迷惑をかけただろうな。 ・元さんも罪を背負って生きただろう。【対】 Ｂそう考えると動物園のきまりを守ることは人を守ることにつながるのだね。【他】 ・元さんの晴れ晴れした表情は、きまりの意味を改めて実感したからなのかな。 きまりを守る判断はいつすればよい 	○「事故が起きていたら」という発言に対して、「逆にきまりを守っていたらどうなるか」と問い返し、きまりを守るよさを話し合うよう促すことで、仲間と思いを共有しながら、きまりの意義を考えることができるようにする。【他】
3　今日の学びを振り返る。（１０分） ・今までの自分 ・これからの自分	・動物園に姉弟を入れるときかな。 ・自分は姉弟に「だめだ」と言えるか分からないよ。少しくらいならと考えるかも。 Ａきまりは何を守るためにできたのか考えると判断できるかもね。難しいけれど。 ・きまりは面倒だなと思っていたけれど、大切で難しいものだと分かったよ。【自】 ・私たちはもう少しで進学したり、就職したりするけれど、きまりについて悩む時期がこれからたくさんあるだろうね。 ・自分たちの身の回りやこれから出会うきまりをもう一度考え直してみようよ。	○授業の学びを基に、以下の観点で振り返るよう促すことで、きまりに対する今までの考え方を見つめ、これからの向き合い方を考えることができるようにする。【自】 ・今までの自分 ・これからの自分

（３）板書計画